

令和4年度前期生徒総会 激励の言葉 (R4. 4. 27)

校長 高瀬 知郎

雄中生の皆さん、こんにちは。

生徒総会への参加、おつかれさまでした。昨年度の前期生徒総会は、新型コロナの感染状況が深刻な状態であったため、ランチルームから教室へのリモート配信による参加でしたが、今日は全校生徒が一堂に会して総会を盛大に実施できました。1年生にとっては初めての生徒総会。生徒会の一員として積極的に参加できたでしょうか。

さて、佐伯生徒会長をはじめ令和3年度後期生徒会役員の皆さん、昨年度半年間の活動、本当にお疲れ様でした。スローガン「Memory」を掲げ、朝のあいさつ運動や榎町駅清掃等、身の回りの人・物・事への感謝を言葉や行動に表す活動を通して、全校のみんなが心を深めることができました。その集大成が感動的な「卒業を祝う会」であり、文字通り「Memory=全校が共有できる思い出」として実を結んだのだと思います。今年度4月からの学校全体の落ち着きも授業への真剣な取り組みも、昨年度のあの取組があってこそその成果であるとは考えています。

そして、いよいよ令和4年度前期生徒会がスタートしました。今期のスローガンは「疾風迅雷」。学校や生徒のためによいと思ったことは、躊躇せずすぐに実行するということですね。その具体例が、4月から素早く始めた「ユニセフ緊急募金」。スピード感があって素敵でした。今、世の中で困っている人のために、決して見て見ぬふりをしない。正しいと思ったことは、ためらわず、すぐに行動に移す。中学生ならではの清らかでみずみずしい正義感が感じられます。私の好きな雄中生は、やはりこうあるべきです。身の回りのことだけでなく、世界のことや人類全体のこと。いろんなことにいつも問題意識を持ち、「おかしいぞ」とか「変だな」とか「間違ってるんじゃないか」と思ったこと・感じたことを、どんどん声に出していきましょう。そしてみんなで話し合っ、今、自分たちにできることを考え、世の中や世界に働きかけていく。一人の力は小さくても、650人が力を合わせれば、大きなパワーになります。そうやって世の中を明るく平和な社会へと変えていく。それが生徒会なのです。650人の雄中生が世界を変える。そんな大きな志をもって、前期生徒会をスタートさせましょう。